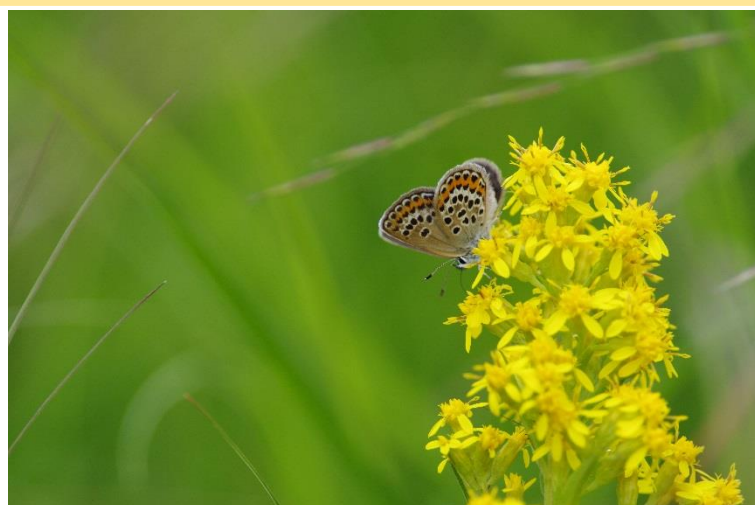


表紙の一枚

アキノキリンソウ ～奥日光の晩夏を象徴する花～

漢字表記は「秋の麒麟草」。
「夏号なのに秋？」と思われる方もいるかもしれませんが。この花は例年 8 月の中旬頃から戦場ヶ原で咲き始めます。都会ではまだ暑い季節です。
ただし、標高の高い戦場ヶ原では同じ 8 月でも状況が異なります。本誌 3 ページの表をご覧ください。なんと、奥日光の 8 月の平均最高気温は約 22 度でとても涼しいのです。
その様な気候の中では 8 月中旬になると秋の雰囲気を感じるようになってきます。アキノキリンソウは、まさにその代表格といえるでしょう。
この夏、都会の暑さに疲れたら是非奥日光へ涼みにいらして下さい。冷えることもありますので、羽織るものをお忘れなく。



日光湯元キャンプ場

～～平成 30 年度のお知らせ～～



湯ノ湖畔にある夏も涼しいキャンプ場

夏休みの家族キャンプや登山前後の宿泊に最適♪

- ・開設期間:11 月上旬頃まで予定
- ・当日受付のみ
- ・受付場所:日光湯元ビジターセンター
- ・料金(1 泊):大人¥1,000 小人¥500
- ・問い合わせ先:0288-62-2461

キャンプ場を利用される白根登山の皆様へ！！

群馬県丸沼高原・日光白根山ロープウェイの往復料金がお得になる割引特典がはじまりました

- ・発行期間:6 月から 10 月まで予定(運行は 11 月 4 日まで)
- ・発行場所:日光湯元ビジターセンター

キャンプ受付時に申し出ください。割引券を発行いたします。
注意:割引券は、キャンプ場宿泊者のみに発行いたします。
割引は往復利用のみの適用で、割引額はお問合せ下さい。



奥日光の自然情報誌
楓通信 No.133
発行:自然公園財団日光支部
TEL0288-62-2461

2018 年 6 月 1 日発行
季刊 無料
次号 2018 年 9 月初旬 発行予定

『楓通信』購読料について
「楓通信」133 号(平成 30 年 6 月発行)より、本誌を無料とさせていただきます。133 号以降の新規購読料金は 2 年単位(発行数 8 部)で 1,000 円(送料・手数料・税込)となります。
不明点や質問がございましたら、楓通信担当まで連絡くださいますようお願い申し上げます。 TEL0288-62-2461

奥日光の自然情報誌

楓通信

No.133
6-8 月号

奥日光を
愛する皆様に
旬な情報を
伝えたい

講演会
レポート

国立公園の先駆け！！

米国イエローストーン国立公園の現状とガイドの役割について

イエローストーン国立公園公認ガイド スティーブ・ブラウン氏



春の使い（湯元）

2018年4月7日撮影

スズメと聞くと、あまりにも馴染み過ぎて「なーんだ」と感じるでしょうか。
 しかし、奥日光ではスズメたちの声が聞こえると「春が来たなあ」とウキウキしてきます。
 というのも、奥日光で見られるニュウナイスズメは春の訪れと共にやってくるからです。
 もちろん、同じく春に飛来する鳥は他にもいます。これらの鳥たちはさながら春の使者のよう♪
 今年は奥日光も暖かい日が続いたため、雪解けや夏鳥の飛来、花々の開花が例年より早いように感じます。
 今後の動植物への影響も気になりますが、とりあえず今は待ちに待った春の訪れを満喫したいところです。
 (T.K)

日光の気象

文◆辻岡
 気象予報士の資格を持つ職員が、
 毎回 1 テーマを分かりやすく解説します。

奥日光の梅雨

6 月になるといよいよ梅雨の季節が間近に迫ってきます。楓通信 98 号（2012 年 5-6 月）で「奥日光には梅雨がない」と言われるが、「奥日光にも梅雨はある」ことを書きました。平地が小雨でも奥日光まで上がると晴れているという現象は確かにあるのですが、それは一定の気象条件が揃ったときのみのことです。奥日光にも梅雨はあるのですが、平地の梅雨と何か違うところがあるのでしょうか。

宇都宮と奥日光について、過去 10 年間の 6 月から 8 月にかけて、雨が降った（日雨量 0.5mm 以上）日数、雨の強度、日照時間を調べてみました。図-1 は雨日数です。これを見ると、宇都宮、奥日光とも、6 月の上旬と比べて中旬に雨日数が急激に増えています。この 10 年間の関東地方の梅雨入り平均日は 6 月 5 日でしたので、このグラフはそれをよく表しています。一方、梅雨明けの平均日は 7 月 16 日でしたが、7 月中旬に雨日数が急に減少しています。しかしその後も、夏を通して雨の日が多い状態が続いています。次に図-2 を見てください。各月の上中下旬ごとに一番強く降ったときの 1 時間当たり雨量を平均したものです。これを見ると、梅雨期間中は宇都宮と奥日光の違いはあまりなく、どちらもそれほど強い雨は降っていないことが分かります。梅雨時の大雨をもたらす湿った暖気は大陸南部から南西の大気の流れに乗って日本付近にやってきますので、西日本では影響が顕著ですが、関東など東日本ではあまり大きな影響は受けません。このグラフはこのことを表していると見てよいでしょう。

一方、盛夏期の 8 月になると、宇都宮・奥日光とも梅雨期間中よりも強い雨が降るようになっていきます。この強い雨は真夏の夕立など雷雨によるものと思われます。図-1 のグラフと併せて考えると、宇都宮・奥日光とも、梅雨が明けても雷雨性の雨が降る日が多いと言えるでしょう。なお、8 月中旬だけが奥日光よりも宇都宮の方が強い雨が降っています。詳細は省略しますが、調べた 10 年間のうちで 4 度、宇都宮で雷雨による時間雨量 30mm 以上の強い雨が降ったためです。雷雲は日光連山で発生し、発達しながら平野部に移動してくるので、しばしば奥日光より宇都宮の方が強い雨が降ることがあります。

最後に日照時間を見てみましょう。宇都宮・奥日光とも梅雨が明けた 7 月中旬以降急に増えています。日照時間は長くなったが雨が降る日は多く、梅雨期間中よりも強い雨が降る、このことも 8 月に降る強い雨は晴天の日の午後に来る夕立であることを示しています。

さて、以上のことをまとめると、梅雨期間中の奥日光は、特に雨が降る日が多いとか、強い雨が降るといえるとはいいようです。梅雨があることの再確認もできました。少しがっかりするような結果でしょうか？

しとしとと小雨が降る中、木道を歩いてアヤメやノハナショウブなどの花を楽しむのもまた趣きがあったいいのではないのでしょうか。

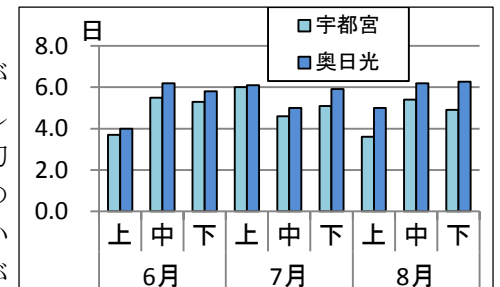


図-1 6～8月の旬間雨日数
(2008-2017年平均)

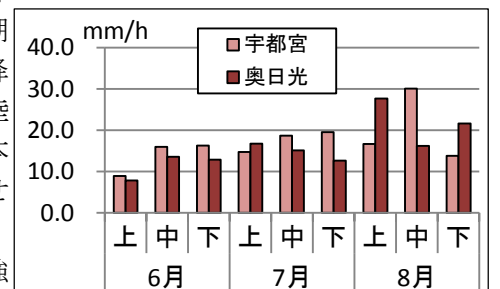


図-2 6～8月の最強時間雨量
(2008-2017年平均)

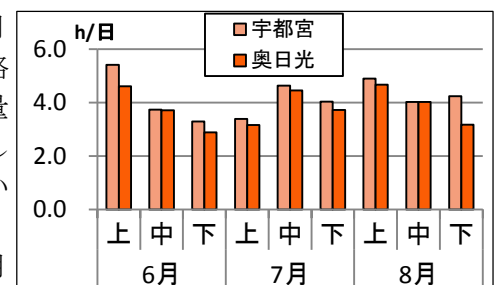


図-3 6～8月の1日日照時間
(2008-2017年平均)

■2017年の平均気温・奥日光				■2018年 日の出日の入り（宇都宮）				■天文情報			
	6月	7月	8月		6／1	7／1	8／1		6月	7月	8月
最高気温	17.4℃	23.1℃	21.9℃	日の出	4:24	4:25	4:46	満月	28日	28日	26日
最低気温	8.8℃	15.7℃	16.1℃	日の入	18:53	19:03	18:47	新月	14日	13日	11日
※気象庁ウェブサイトより				※国立天文台ウェブサイトより				7/28 みずがめ座δ流星群が極大 8/13 ペルセウス座流星群が極大			

米国イエローストーン国立公園の現状とガイドの役割について

講演者プロフィール
【スティーブ・ブラウン先生】

イエローストーン国立公園公認ガイド
 イエローストーンを中心に、アラスカからカリフォルニアまで多数の国立公園で自然教育プログラムを手がける。
 イエローストーンアドベンチャー株式会社設立から 26 年間、世界からの観光客、学生 4 万 6000 人以上を教育してきた実績と経験を持つ。

平成 30 年 2 月 28 日、日光湯元ビジターセンターは、米国から来日中のスティーブ・ブラウン先生をお招きして、「米国イエローストーン国立公園の現状とガイドの役割について」というタイトルで講演会を開催しました。ブラウン先生は、自然生態系講師歴 20 年以上の経歴を持つイエローストーン国立公園公認ガイドで、この日も、ユーモアあふれる流暢な日本語を操って、講演会に集まった参加者達を前に、とても興味深い話をしてくださいましたのでご紹介します。

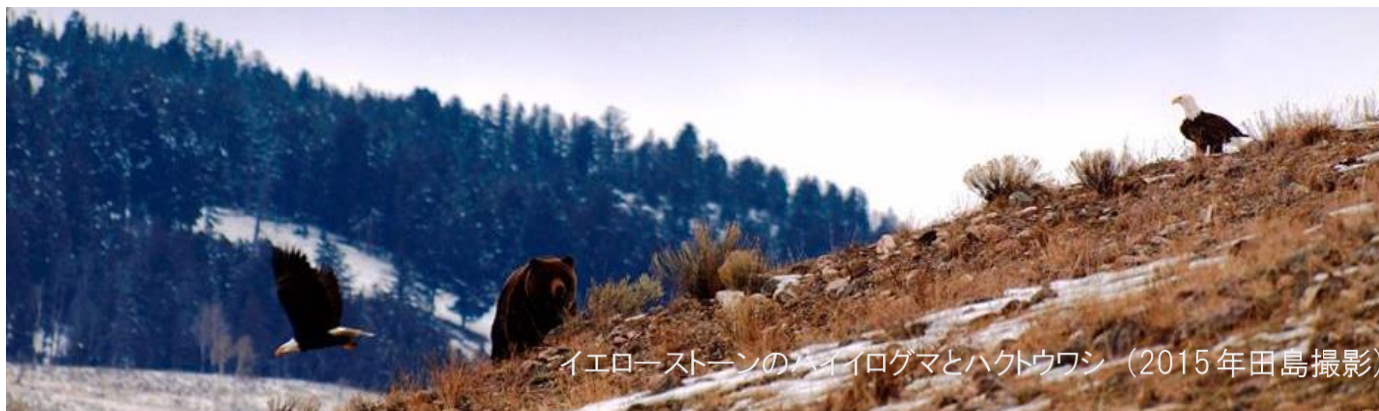
【イエローストーン国立公園の現状と問題】

イエローストーンは、今から 140 年以上前の 1872 年(明治 5 年)に設立された世界で最初の国立公園です。これに対し、日光を含む日本初の国立公園の設立は 1934 年(昭和 9 年)です。北米大陸の急速な開拓を進めてきた米国人(元英国人)は、その大自然崩壊の危機感があって、その対処も早かったのです。これに対し、古来より自然を畏れ、敬ってきた日本人には、米国のように「自然を守る」という発想が出てこなかったのかもしれません。

イエローストーンで有名なのが、大地の躍動を感じさせる温泉です。豊富な温泉が湧いていますが、日本のように入浴施設がないのが残念です。最近、温泉にお金を投げ込む観光客が多くなり、泉温 72℃の中、年に 2 回ほど硬貨を回収するそうで、その多くは、日本円との話でした。

温泉には数知れない微生物が生息しており、そのうち 99%以上のことは解き明かされていないといえます。小銭や温泉卵一つで、その謎めいた微生物の生態系を壊しかねません。その国の風習や習慣は、簡単に取り除けるものではありませんが、異国の地に立った時、それがその場所では当然ではないことに「気付く」ことが、とっても大切なことなのです。

また、野生動物観察も大変人気で、ムース(ヘラジカ)やエルク(アメリカアカシカ)、アメリカバイソンなど、大きな草食動物を見ることができます。現在では繁栄しているバイソンですが、乱獲によって、8000 万頭から、わずか 29 頭に減ってしまった時代がありました。そして、ハイイロオオカミもまた乱獲により、1926 年、全米から消え去りました(注:日本のオオカミも 1905 年に絶滅)。オオカミの絶滅によって生態系のバランスが大きく崩れ、その影響は河川にまで及び、イエローストーンの景観も変貌してしまいました。1995 年、様々な反対もありましたが、カナダから連れてきたオオカミを放したこと、イエローストーンは本来の姿を次第に取り戻しつつあります。



イエローストーンのハイイログマとハクトウワシ (2015 年田島撮影)



イエローストーンのバイソンの群れ(2015 年田島撮影)

このように、様々な動物の乱獲時代を乗り越え、野生動物との共存を図ってきましたが、現在では新たな問題もあります。それは、人間と野生動物の接触です。人々にとっては格好の「SNS 映え」するバイソンですが、野生動物との接近によって起こる人身事故が後を絶ちません。クマとの関係についても、イエローストーンでは特に教育に力を入れている部分です。クマスプレーは、あるクマに襲われた米国人が、クマと人の良い関係作りのために開発されたそうです。コンセプトは、「Protect your family when she's protecting hers.」。つまり、「母グマが彼女の家族を守っているとき、あなたもあなたの家族を守りなさい。」という意味です。クマスプレーは、クマと人間との平和な関係が目的なのです。

このように、野生動物を殺しすぎても、仲良くすぎてもいけません。野生動物との距離の取り方、付き合い方のバランスが重要な部分ではないかと感じました。

【ガイドとしての役割】

ブラウン先生は、ガイドを行う中で重要なのは、ただ一つ一つの情報(例えば、動物や植物の名前)を伝えるのではなく、それらの「つながり」を伝えることだとおっしゃいました。それは一部に留まらず、「生きている大自然」の教育、つまり土壌を養う微生物からオオカミの話まで伝えるよう心がけているそうです。事象ではなくメッセージの方が、人々の心に残りやすく、それは人々の行動を変える力があるからです。

【誘客による経済効果(ここでは 1 ドル 100 円換算)】

「野生動物観察」という娯楽が生み出す経済効果について、2011 年のデータによりますと、自然関係の仕事(ビジターセンター職員、国立公園警察官など)に従事する雇用者数は、全米で 940 万人、総生産額は 106 兆円で、これは、国内総生産(GDP)のうちの 10%を占めているそうです。また、この野生動物観察に行った経験のある米国民は 1 億 1210 万人で、これは国民の 38%に相当し、実に 5 人に 2 人が野生動物観察を楽しんでいる計算になります。これは、人々の生活の中での「自然」という存在が、日本人と米国人とで全く異なるということを意味します。そして、米国の自然関係業務の収入が、日本と比較して良いのも納得できます。ただ、その動物の行動や地形、植生の違いによる野生動物の観察環境の良さも、大きく関係してくるのではないかと推測されます。

【講演会の感想】

昔と比べると野生動物の生息状況はだいぶ改善され、野生動物による経済効果も大きくなりましたが、増加する海外からの観光客で、イエローストーンはパンク状態。世界最古の国立公園であるにもかかわらず、多くの問題を抱えているのが現状のようです。これら問題点を見て、この日光国立公園に当てはまること、当てはまらないこと、また見習うべきこと、見直すべきことを参考に、今後の日光国立公園の発展につなげていきたいと思いました。

自然公園財団日光支部 奥日光シカ管理専門員 田島 美和

～奥日光の秘境を訪ねる3つの夏旅～

一.いざ、修験の聖地へ 大多和宿

奥日光の山岳ルートへのルーツに迫る旅。

申込み・先着順
集合時間 9:007/20(Fri)
09:30—15:30対象:現地に集合できる中学生以上の方
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)
集合場所:光徳無料駐車場
参加費:2,000円 定員:10名程度奥日光の山岳ルートは修験の道として形成されていきました。
今回のイベントでは史跡等を通して往時に思いを馳せながら歩きます。
(特別許可を得て開催)

二.苔の回廊 幽谷・御沢金剛峯

火山活動や浸食の跡、大地の力を体感する旅

申込み・先着順
集合時間 9:307/28(Sat)
10:00—15:00対象:現地に集合できる中学生以上の方
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)
集合場所:光徳無料駐車場
参加費:2,000円 定員:15名程度昨年大好評だったイベント再登場!!
真夏の暑さも忘れる涼しい苔の溪谷で、悠久の時を感じる。
(特別許可を得て開催)

三.まだ見ぬ絶景を探して 地獄沢

奥日光のひそやかな水源をたどる旅

申込み・先着順
集合時間 9:308/05(Sun)
10:00—15:00対象:現地に集合できる高校生以上の方
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)
集合場所:竜頭滝下駐車場
参加費:3,000円 定員:10名程度奥日光の山々から流れた水がどのようにして中禅寺湖にそそがれるのか。その謎を探します。
(特別許可を得て開催)

～奥日光の涼しい夏をゆったり満喫～

木漏れ日の森のんびりハイキング 千手ヶ浜

黄色の花園で蝶や鳥を観察♪

申込み・先着順
集合時間 09:158/12(Sun)
09:30—14:00対象:現地に集合できる小学校4年生以上の方
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)
集合場所:低公害バス西ノ湖入口バス停
参加費:2,000円(バス代別途必要) 定員:10名程度夏季は人も少なく静かな千手ヶ浜。
木漏れ日の中、黄色い花園で蝶が舞う森を散策します。

お申込み先

自然公園財団日光支部
TEL:0288-62-2461
FAX:0288-62-2378お申込の際、平成30年実施イベントの参加の有無、氏名・年齢、郵便番号・住所・電話及び当日連絡先、交通手段をお知らせください。
(日程や内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください)

日光パークボランティア主催イベント



自然ふれあいプログラム
平成30年7月28日(土)
平成30年8月18日(土)

集合場所 湯元キャンプ場炊事場前
活動場所 湯元キャンプ場内
集合時間 13時30分
解散時間 15時00分
対象者 だれでも
内容 ビンゴカードを使い自然観察
※申し込み不要、小雨決行 雨天中止
※各回定員20名(集合場所先着順)

参加費 無料

一奥日光で自然保全活動に取り組むボランティア
日光パークボランティア連絡会
問い合わせ先 日光湯元ビジターセンター
TEL 0288-62-2321



午後の散策 7月21日(土) 7月28日(土) 8月4日(土)
16時00分～1時間程度 8月18日(土) 8月25日(土)

朝の散策 7月22日(日) 7月29日(日) 8月5日(日)
6時30分～1時間程度 8月19日(日) 8月26日(日)

【集合場所】 日光湯元ビジターセンター前(日光市湯元温泉) 湯元地区内、湯ノ湖畔を歩きます。

秋の散策 9月30分～12時 9月9日(日)

【集合場所】 赤沼自然情報センター前(日光市中宮祠) 戦場ヶ原(赤沼から青木橋まで)を歩きます。

★歩きやすい服装と靴でご参加ください。★
参加費無料! 一奥日光で自然保全活動に取り組むボランティア
日光パークボランティア連絡会
申し込み不要! 自由解散!
※各回定員20名(集合場所先着順)

雨天中止 【お問合せ先】
日光湯元ビジターセンター
TEL 0288-62-2321